AGS CORPORATION

AGS株式会社

Assuring Growth and Success with IT

－ITで、確かな成長と成功を－

News Release

平成 26 年 4 月 25 日

報道関係者各位

「標的型攻撃メール対応訓練サービス」の提供開始

ＡＧＳ株式会社（エージーエス株式会社　本社：さいたま市浦和区、代表取締役社長　小川修一　東証一部上場　証券コード：3648、以下当社）は、標的型のサイバー攻撃に対するセキュリティ意識向上を目的とした「標的型攻撃メール対応訓練サービス」の提供を平成 26 年 4 月 25 日より開始いたします。

【サービス提供の背景】

昨今、標的型のサイバー攻撃による個人情報や技術情報漏洩の被害が増加しており、対策の必要性が高まっております。特に、特定の組織を狙い業務を装って悪意のあるメールを送りつけ、コンピュータウイルスに感染させる標的型攻撃メール[1]が増加していることから「標的型攻撃メールの脅威の周知と注意喚起」を目的として、本サービスを提供することとなりました。

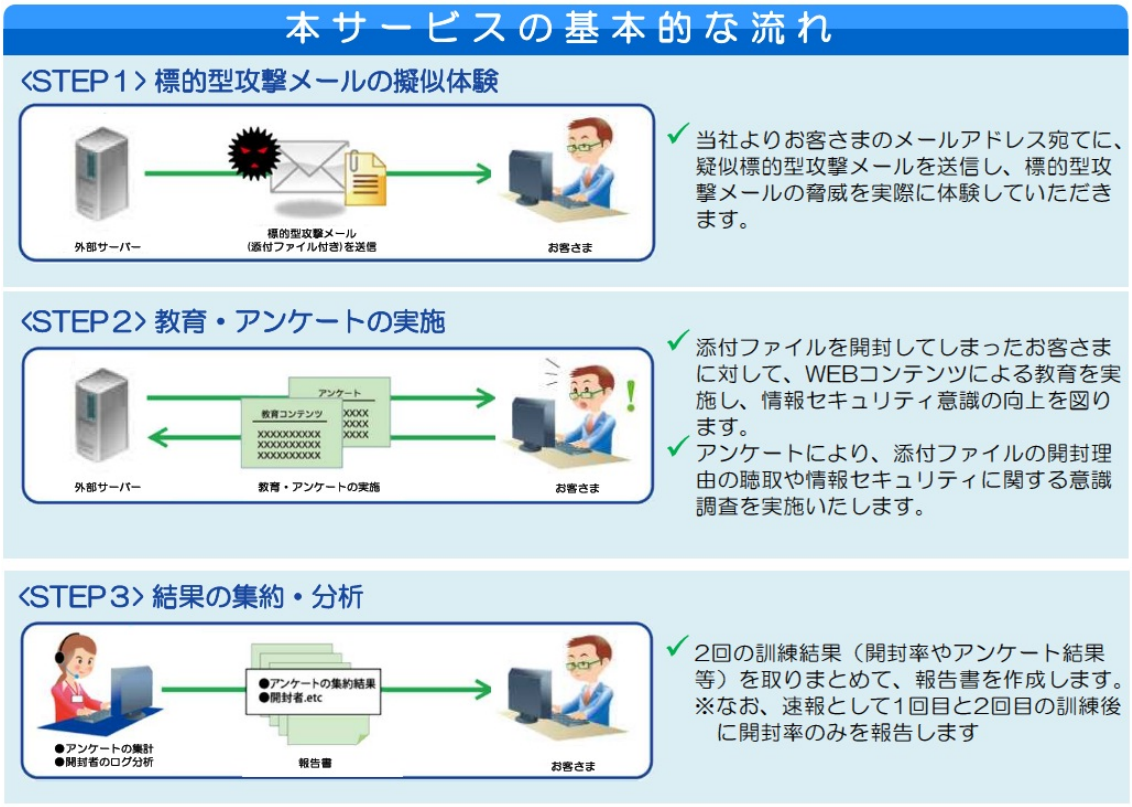
【サービスの内容】

本サービスでは、疑似的な標的型攻撃メールを体験することにより、不審なメールを受信したときの対応を習得できます。 これにより、一人ひとりの情報セキュリティに対する意識向上を図り、コンピュータウイルス感染リスク低減に結びつけます。

主なサービスの内容は以下の一覧のとおりです。

主なサービス項目	内容
訓練対象者への疑似攻撃メール送付	訓練対象者のメールアドレスに対して疑似的な標的型攻撃メールを送付し、攻撃メールを実際に体験していただきます。なお訓練の効果を測るため、訓練は２回実施します。
情報セキュリティ教育の実施	疑似攻撃メールの添付ファイル開封者を対象に、ＷＥＢコンテンツによる情報セキュリティ教育（標的型攻撃メールの見抜き方など）を行います。
アンケートの実施	添付ファイルの開封者に対して開封理由などのアンケートを行います。
訓練結果報告の提供	開封率やアンケート結果などをまとめて、訓練実施結果の報告書を提供いたします。

[1]標的型攻撃メールとは、特定の企業などを狙って、実在する組織や個人をかたり、業務を装って送られてくるメールで、コンピュータウイルスを含むファイルが添付されているものや、悪意のある URL が記載されているものがあります。添付ファイルを開いたり、URL をクリックするとウイルスに感染し、パソコンの情報が盗まれる、パソコンが遠隔操作されるなどのセキュリティ事故につながります。



【本サービスの対象例】

- ◆ 職員・社員の情報セキュリティ意識向上が課題のお客様
- ◆ サイバー攻撃の対応訓練実施を検討されているお客様
- ◆ 職員・社員宛に標的型攻撃メールが送られてきたことのあるお客様
- ◆ 過去に電子メールによるウイルス感染で、被害を受けたことがあるお客様

【本サービスの紹介】

http://www.ags.co.jp/service/security/tea_drill.html

【料金】

	訓練対象者数		
	～250 人	～1,000 人	～5,000 人
金額（税抜）	850,000 円	1,150,000 円	1,500,000 円

※上記料金は、標準メニューで提供する場合の料金です。

※標準メニューをカスタマイズする場合は、別途追加料金が必要です。

※訓練対象者数が 5,000 人を超える場合は、個別見積もりとなります。

【当社の概要】

名 称 ：ＡＧＳ株式会社
代 表 者：代表取締役社長 小川 修一
所 在 地：埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷四丁目３番25 号
設 立：1971 年７月
資 本 金：1,398 百万円
主な事業：情報処理サービス、ソフトウエア開発、その他情報サービス、システム機器販売
URL ：http://www.ags.co.jp/

【サービスに関するお問合せ先】

ＡＧＳ株式会社　事業推進本部　営業統括部　（担当：柴崎）
TEL.　048-825-6177　　e-mail　eitou.ml@ags.co.jp

【本リリースに関するお問い合わせ先】

ＡＧＳ株式会社　企画部　経営管理グループ（担当：吉田、橋本）
TEL.　048-825-5975　　FAX.　048-825-6959　e-mail　ir.ml@ags.co.jp

※ 本サービスは東北インフォメーション・システムズ株式会社と協業で提供するサービスです。
※ プレスリリースに掲載されている商品・サービスの価格、仕様、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。

以上